

穴戸ゼミナール

2017年度 活動報告



穴戸ゼミナールでは、「少子高齢化とまちづくり」をテーマにしています。「社会的排除」の問題について考え、現地に足を運んで、自分たちにできる解決策を実践します。①**問題を把握する力**、②**課題を解決する力**、③**異質な他者とコミュニケーションする力**を向上させることをねらいとしています。

「子どもの貧困」対策

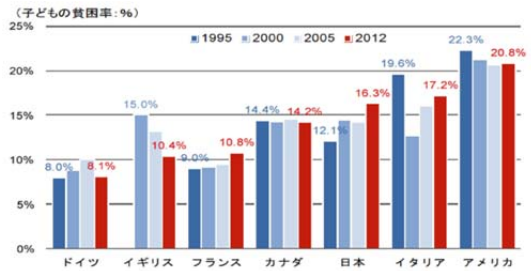
日本の子どもの6人に1人は貧困状態にあります。穴戸ゼミでは、5つの班が「子どもの貧困」に関連した活動を展開しています。



子ども食堂

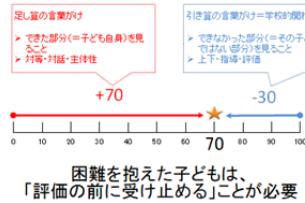


児童養護施設での学習支援

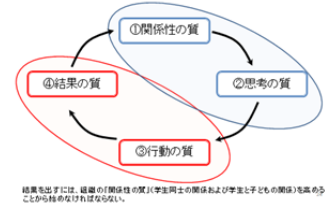


日本の子どもの貧困率は先進国のなかで高い方であり、改善が見られません。特に母子家庭の貧困が顕著です。

何に注目しますか？



組織の成功循環モデル (ダニエル・キム)

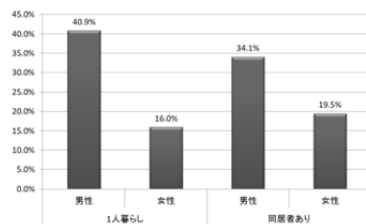


高齢者の社会的孤立の予防

日本の高齢者の**孤独死の推計は、年間27,000人**です。毎日74人の方が孤独死されている計算です。穴戸ゼミでは、2つの班が高齢者の社会的孤立を予防する「集い場」の取り組みに関わっています。



脳トレの「二文字カルタ」



孤立傾向にある高齢者の割合

【課題】

- ① 孤立しがちな高齢男性の参加を増やすには？
- ② グループになりがちな固定的な関係をほくすには？
- ③ 毎月の運営の負担を軽減できる？

ボランティア活動の活性化

「まちづくり」のためには、地域住民の**ボランティア**が必要ですが、近年、ボランティアの高齢化が生じています。子育て層や若年層に関心を持ってもらう「あいあいサロン」の企画をゼミ生が実施しています。

聴覚障がいの方を招いた手話教室の企画

